

川口慶氏

1. 立候補を決めた理由を教えてください

今の世の中や政治の世界は損得勘定を価値の判断基準にしており、国民、市民の暮らしよりも、一部の利益が優先されています。私は、この沼津市政において、損得勘定ではなく「市民の幸せ」を価値の判断基準に据えた「まちづくり」を進めていかなければならないと強く感じ、その担い手になるべく立候補を決意いたしました。

2. 沼津市が現在抱えている最大の課題は何で、どのような対応策が必要だとお考えですか

人口減少だと考えます。人口増加への具体策がないまま、鉄道高架化事業を押し進めていることは大変問題があると考えます。給食費無償化などは市内全域の子育て世帯の助けになり、買い物をする余裕もできれば地域経済も潤います。また食材の確保で農業・漁業など地域産業の振興にも役立ちます。子育てのしやすさや雇用の安定などに寄与し、移住者を見込めます。市税収入が増えれば高齢の方の支援も充実させることができます。

3. 沼津駅付近鉄道高架事業により沼津市の再生は可能だと考えますか。

可能だとすれば、そこには、どんな因果関係があると思われますか。

高架化で再生は不可能。「沼津駅周辺総合整備事業」は2月の市の試算では、沼津市の負担額は当初の予定より81億円増額され、総額800億円にのぼり、完成時期の人口は15万人台とされています。市税収入は減り、事業の借金は増えます。住民サービスの低下が予想されます。この事業以外にも沼津市は老朽化した公共施設の再整備に1481億円かけています。箱物ではなく市民の暮らし最優先の市政でなければ再生はありません。

4. 沼津市の人口減少について、国の関係機関の予測を上回るような沼津市当局が考えている合計特殊出生率の達成は可能だと考えられますか。

移住・定住策で何か、お考えはありますか。

2013年～2017年の沼津市の合計特殊出生率の値は全国の値、静岡県の値を下回り、近隣市町の中で最低の値となっています。国の予測を上回る値を目標とすることは良いことですが、給食費無償化は継続されず、鉄道高架化事業は進められています。安定的な雇用、子育て支援につながる施策で定住人口を増やさなければなりません。給食費無償化はすぐに取り組めます。箱物ありきの市政を改めなければ達成は不可能でしょう。